

学校教育目標：「心豊かで実践力のある児童の育成」

合言葉：『5つの大好き「友達」「自分」「勉強」「運動」「川東」』

校報

川東小だより

令和7年10月30日
真庭市立川東小学校
10月号



子どもたちが主体的に学び合う姿を目指して

いつまでも暑い日が続いているなと思っていましたが、ここ1週間ほどで朝夕は肌寒く、秋の深まりを感じられる季節になりました。10月は祭りやイベントで子どもたちが地域の方々と一緒に活動し、触れ合う機会がたくさんありました。行事に参加している子どもたちの顔は、とてもいきいきしていて、こういった体験を通して子どもたちの心は育っていくのだなと実感しているところです。

さて、年度の半分が過ぎ、折り返しになりました。川東小学校では『「わかった」「できた」を実感できる算数科の授業』を研究テーマに授業づくりや授業改善を進めています。算数の学習では、4月終わりから計算力の向上のために、授業の始まりには毎時間タブレットを使って「計算タイム」に取り組んでいますが、毎日続けることで、子どもたちは計算力がついてきたと実感できるようになってきました。また、授業の中で本時の課題をはっきりつかませ、意欲をもって学習に取り組むことができるような「導入」の工夫、子どもたち同士で学び合いを進めていくことができる仕組みづくりや教師の支援の在り方等、週に1度の校内研修の時間を使い研修しています。10月20日（月）には3年生の「わり算や分数を考えよう」の授業を公開し、他校の先生に参観していただいたり、津山教育事務所や真庭市教育委員会から指導主事の先生方に来ていただき、一緒に校内研修を行ったりしました。今年度も昨年度に引き続き、算数科を中心に研究を進めていますが、研究したことを基に、どの教科でも子どもたちが主体的に学ぶ姿を目指して授業づくりを行っています。子ども一人一人がタブレット端末を使って学習できる環境が整い、どんどん学習の仕方も変わっていています。研究主任を中心にチームとして新しいことに挑戦しながら、教師の個々の授業力アップ、スキルアップも頑張っています。



計算タイム 6年生



自分の考えを自由に友達と伝え合います



3年生 研究授業の様子

ニュースポーツフェスティバル

10/1(水)2・3校時にニュースポーツフェスティバルを行いました。「体を動かすことが好きな子どもになってほしい」という今年度の川東小学校の重点目標に向けた取組のひとつとして、真庭市スポーツ推進委員落合支部の方々をお迎えしてポッチャ、モルック、ラダーゲッターの3種類のニュースポーツをたてわり班で楽しみました。



ポッチャ



モルック



ラダーゲッター

社会見学



10/10(金) 全校で社会見学に行ってきました。今年は「岡山芸術交流2025」に参加し、オリエント美術館付近でバスを降車した後、岡山城まで展示を鑑賞しながら散策しました。岡山城見学は、たてわり班で行いました。6年生のリーダーが安全に気を付けながら下学年に優しく声をかけてくれました。岡山城を見学した後は、低学年は池田動物園、中学年はこどもの森・岡山理科大学恐竜学博物館、高学年は岡山県立博物館・津島遺跡に分かれ、それぞれで見学や学習をしました。お天気にも恵まれ、普段の学校生活ではできない体験をいっぱいしてたくさんのかことを学ぶことができました。



1・2年生



3・4年生



5・6年生

真庭支部科学研究発表

4年 環境学習



10/6(火)第7回真庭市科学研究発表会が本校で行われました。川東小からは4人の児童が参加しました。生活の中から「どうしてなんだろう？」と見つけた「不思議」をしっかり仮説をたてて研究を進め、大勢の知らない人の前でも、しっかりと大きな声で堂々と発表できている姿は立派でした。



10/14(火)NPO 法人あぐりガーデンプロジェクトの藤原さんをお招きして環境学習出前講座を行いました。「みそづくり」を通して食べ物がどうやってできているのか考え、子どもたちは食べ物を選ぶ時に大切なことを学びました。